



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

# つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク  
Tel&Fax:029-859-0264  
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F  
tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
http://tsukuba-net.jp



2018年4月13日 vol.54

年4回、議会が終わるたびに発行しているこの「つくば・市民ネットワーク通信」。議会報告を載せるので議員活動が目立ちがちですが、実は市民ネットの活動はそれだけではありません。

「もうちょっと何とかならないのかな」と思った会員が集まって話し合ったり、学習会を開いたり、視察に行ったりしています。例えば、高齢者のこと、子どものこと、障害福祉のこと、市民参加の方法やごみの問題...などが現在、主に取り上げられているテーマです。興味のある方はぜひお問い合わせください。

つくばをもっと住み良いまちにするために、一緒に何とかしてみませんか？

議員活動だけじゃなく！  
市民ネットってこんなに色々やっています♪



ウワサの土浦市立図書館を見学  
あの子たちがこんなに長い時間本を読むなんて！  
環境って大事！（母）



DV学習会



ダンボールコンポスト講習会



やすらぎサロンつわ見学



親子で聴く戦争体験お話し会



私たちの事務所で～♪  
会議や学習会もここですることが多いです



署名用紙を印刷中。  
たくさん集めたい！



手伝いに来たよ～♪  
みんなでやれば速いよね



チラシ読んでくださいね



東海第2原発の  
再稼働は許さない！！  
署名活動スタート集会

## 「日本と再生」上映会のお知らせ

とっくに

自然エネルギー推進をめざし世界は動いています！

5月12日(土) 13時半～15時半  
小野川交流センター

5月16日(水) 10時～12時  
小野川交流センター

※ 参加費：500円

※ 託児ご希望の方は事前にご連絡ください。

(TEL 029-859-0264 市民ネットワーク事務所)

太陽、風、地熱、バイオマスetc.日本は資源大国！

脱原発弁護士・河合弘之氏と環境学者・飯田哲也氏が、世界の自然エネルギーの実情を知る旅に出ました。ドイツ、デンマーク、中国、アメリカ・・・クリーンで安価なエネルギーで世界はもう動いています。「日本と再生」で自然エネルギーの大いなる世界を実感してみませんか。



## 議員と話そう！会

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の北口、宇野、皆川、小森谷を交え、様々な情報と意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

5月9日(水) 10:00～12:00 荃崎交流センター 工作室

5月11日(金) 13:30～15:30 竹園交流センター 大会議室

5月13日(日) 10:00～12:00 ホテルベストランド2Fバンケットルーム  
(つくば市研究学園5-8-4)

会派代表質問

# 各種計画づくり、地域振興、科学技術導入、自転車走行帯の設置etc. 様々な場面で市民参加を積極的に進めよう!



つくば市議会議員  
都市建設委員会副委員長  
**宇野 信子**

会派代表質問項目

会派代表質問とは、3月議会で市長の所信表明に対し、政策的な観点から行う質問です。

- ・まちづくり
- ・福祉
- ・教育
- ・経済振興
- ・科学技術
- ・行政
- ・平成30年度の主要施策

今年につくば・市民ネットワークが求めてきた市民参加に関する様々な仕組みがスタートします。そこで市民参加を実質的に進める視点から質問しました。

**Q1: 市の最上位の計画である未来構想と戦略プランを新年度見直すとのことだが、その際、市民参加の取り組みはどのように行うのか?**

→A: 市民参加推進に関する指針等に基づき、審議会への市民委員の公募、アンケート調査や地区ごとの懇談会、ワークショップなどを開催し、積極的に市民参加を推進しながら見直し作業を行う。そして、その過程がわかるように広報つくばやHPで積極的に情報提供していく。

**Q2: 中心市街地まちづくりや周辺市街地の地域振興、公共施設跡地利用検討などの課題解決において、市民参加をどのように進めるのか?**

→A: 情報共有や対話の場を、時間がかかっても丁寧に設けることにより、多くの市民が求める計画になる。さらに、実施段階でも市民の理解・参画を促進することになる。昨年度はまちづくりに関する地区別懇談会22回、周辺市街地振興に向けた勉強会など、テーマや目的に応じた方法を工夫しながら、対話や情報提供に努めてきた。今後は、市民参加推進に関する指針に基づき、引き続き対話や協働を進めていく。

**Q3: 科学技術を生かしたまちづくりの必要性は理解するが、科学技術が市民生活に常にプラスになるとは限らず、リスクを高める可能性もある。新しい技術の導入前に、市民が生活者目線でチェックを行う仕組みが必要ではないか?**

→A: 新たなテクノロジーを導入するには社会の理解が欠かせない。市民生活の向上を目指し、市内をフィールドとした様々な実証実験を進めていきたいと考えている。場合によっては、リスクや不安を抱かせるものもあるので、丁寧な説明を行い、市民の理解と安全性の確保に取り組んでいきたい。

**Q4: 車道に設置を進めている自転車通行帯の新設は、地域住民への説明等がされずに進められてきた。今後、設置場所の検討や安全な利用等、地域住民と共に取り組んではどうか?**



車道に設置された自転車通行帯

→A: 自転車通行帯は設置可能な幅員を有する市道に整備しているが、今後は地域住民の意見をうかがいながら進めていきたい。逆走、並走など危険な使用形態も見受けられるため、通行ルールを周知し安全利用を促進していく。

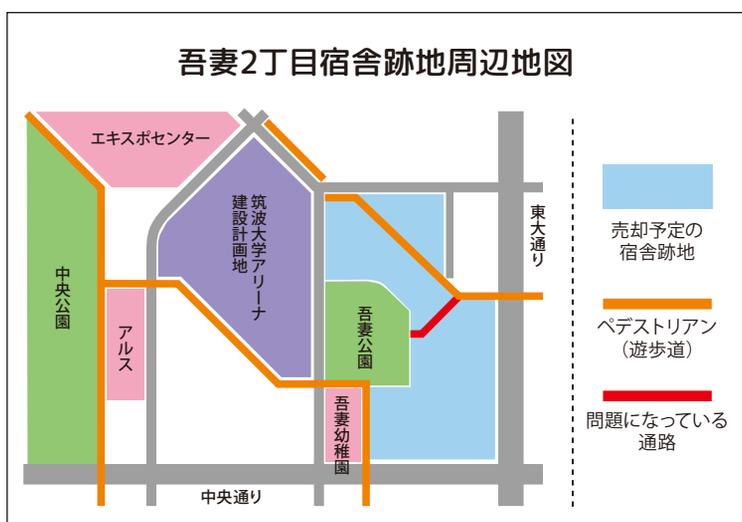
## 中心市街地の公務員宿舎跡地 一体的なまちづくりを!

研究学園都市は50年前に国の一大プロジェクトとして巨額な税金を投入して作られました。しかし、2005年頃から徐々に削減されてきた公務員宿舎が、2011年一気に2600戸もの廃止が決まり、市はまちの再編を余儀なくされています。

2019年度の売却予定の吾妻2丁目の宿舎跡地には図のように、ペDESTリアンと吾妻公園を結ぶ通路が含まれています。幼児児童が行き来するうえで、安心な通路でもあり、このまま売却されると歩行者の動線が確保できなくなるのではないかと市民の声が届き、一般質問しました。

◆住民の通路は確保されるのか?

担当部長からは、近隣住民が利用しているのは認識している、国から無償での譲りうけは難しいが、今後この通路も含め地区計画の内容を検討していく、と答弁がありました。



地区計画は良好な環境を整備・保全する目的で一定区画について緑化率や高さ制限などを定めた計画です。これまで閉鎖された宿舎跡地については、市がそれぞれの区画に対し地区計画を決めた後、売却されてきました。ただ、地区計画は努力目標が多く、強制力は乏しいのが実情です。

大量の宿舎廃止に対応すべく2013年に設置された国・県・市による「つくば中心市街地再生推進会議」の資料には、この吾妻2丁目の宿舎跡地内の通路について「歩行者動線の担保が重要」と書かれており、この課題は共有されていました。地区計画を決めるだけでなく、通路確保の条件を付けて売却するよう地権者である国へ強く交渉してほしいと要望しました。

◆アリーナ建設も見据えてまちづくりを!

また、この宿舎跡地と隣接した区画について、昨年、筑波大学がアリーナの建設計画を公表しました。近隣住民から、将来的な交通渋滞や歩道の狭さについて心配する声が届いています。再生推進会議で話し合われた時には、このアリーナ計画はなかったもので、建設されると中心市街地のまちづくりに大きな影響があると考えられます。

◆もっと、生活者目線の意見や提案を!

これまで、業者任せでバラバラに開発が行われてきましたが、市は6月をめどに「中心市街地のまちづくりビジョン」を定める方針です。これまで募集した意見も含め庁内で検討することですが、既にあるまちの良さ・機能については、住民でないと気付にくい点が多々あり、生活者目線の意見や提案もまだまだ出し切れていないと感じています。つくば・市民ネットワークは、市民の声が反映されるよう取り組んでいきます。



つくば市議会議員  
市民経済委員会委員長  
**北口ひとみ**

一般質問項目

- ・遺伝子組換え作物
- ・ソーラーシェアリング
- ・公務員宿舎跡地再開発



# すべての児童・生徒にしっかり向き合うための提案



つくば市議会議員  
総務委員

皆川ゆきえ

一般質問項目

- ・学校の多忙化への対応と、支援が必要な児童生徒への対応
- ・中学校への学校図書館司書の配置
- ・地域の課題解決力を高める取組
- ・跡地活用



つくば市における不登校の児童・生徒数は、昨年度、小学校で約70人、中学校で約170人もいます。この数は年間の欠席が30日以上の子のみで、保健室登校の子や、生活リズムの乱れで遅刻がつづいている子、勉強がわからず休みがちになっている子などはカウントされていません。実際には、前述の数以上に、サポートが必要とされる子が多数存在し、それぞれの抱える悩みや課題は多種多様です。

そういった児童・生徒にしっかり向き合うためには、まず、残業100時間を超えブラックと言われる学校の先生達の負担を減らし、さらに学校環境や体制の拡充も必要です。

そこで、今議会では以下の4点について提案しました。

◆教師の多忙化対策①<部活動>

中学校の部活動は、平日は朝と夕方、土日も活動があり、教師の多忙化の大きな要因の一つです。昨年12月に出された、文科省の「学校における働き方改革」に関する緊急対策でも、部活動のあり方の検討を提案しています。対策の具体例として、部活動指導員や外部人材の積極的な参画、大会等へ地域スポーツクラブ等の参加を可能にすることなどが示されています。これらを充分検討し、つくばでも可能なものは取り入れていくことで、先生の負担を軽減していくべきです。

◆教師の多忙化対策②<学校事務の軽減>

他にも、「学校徴収金の徴収・管理」や「調査・統計等への回答等」についても文科省の緊急対策で示されています。まず

教育委員会で現状がどうなっているか把握し、やり方の見直し、必要性の低いものは削減するなどし、先生や学校の負担を減らしていく工夫が必要です。まず、教育委員会で早急に緊急対策について検討を始めて頂くよう、要望しました。

◆学校生活サポーターの拡充

サポートが必要とされる児童生徒へ対応するために、学校生活サポーター制度があります。学校生活サポーターは一人一人の子どもの状況に合わせ、丁寧に対応しており、「学校生活サポーターさんが居るから学校に行く」と、学校に来始めるようになった子もいるようです。しかし、学校生活サポーターは現状では週10時間程度の配置なので、サポートを必要とする子すべてに、毎日、朝から夕方まで対応するには、体制が不十分と考えます。拡充を要望しました。

◆中学校への学校図書館司書の配置

近隣の土浦市や牛久市は、資格を有する専任の司書を土浦市は1日4時間、牛久市は1日7.5時間中学校に配置しています。しかし、つくばの中学校には専任の司書がいません。専任の司書がいれば、学習の進捗状況や子どもの発達、心理状況に合った図書を提案することが可能になり、学力の向上や、図書室が子ども達の心のよりどころ、居場所にもなります。中学校へ、早急に専任の司書を配置するよう、要望しました。



## 通学区域の決め方、もっと丁寧に!

今年4月から3校の義務教育学校が開校しましたが、TX沿線の2校は児童生徒数の増加が著しく、今後もこの勢いが続きそうです。とくに春日学園の分割校として開校した学園の森義務教育学校(以下『学園の森』)は、1年生8クラス、2,3年生6クラスと、想定していた学年4クラスを大きく超えました。「近くに学校ができるから」と移住してくる方もたいへん多いのですが、そこに通学区域の問題が加わりました。**蓋を開けてみると、1~6年まで各学年約1クラス分が学区外就学者だったのです。**なぜそんなことになったのでしょうか?

学園の森の通学区域を決めたのは2015年の学区審議会ですが、この時すでに沼崎小学校区と葛城小学校区の一部住民から「新しい学校に就学したい」という要望が出ていました。理由はこれらの地区からは学園の森の方が近い、歩道が整備されていて安全、などということですが(地図参照)。

また中学校が沼崎小だと豊里中、葛城小だと手代木中であり、施設一体型の小中一貫義務教育学校である学園の森には通えません。中学校からは学園の森に通える、という選択肢があれば状況は変わっていた可能性があります。施設一体型小中一貫のひずみが出ているとも言えます。

しかし、この時の議事録をみると「これらについては個別に対応する」としか触れられていません。

そもそも、春日にしても学園の森にしても、学校が学区の端に位置していることが問題なのですが、位置が変えられないのであれば、通学区域の設定については慎重に進めなければい

けませんでした。

市が想定した学区の境界に隣接する地区には**早めに予備調査を行って住民の希望を把握する、要望が出ている地区とは住民との意見交換をする、そして場合によっては周辺の学校の学区見直しも含めて協議をすることが必要でした。**こうした検討が行われていれば、今回のような大量の個別対応は避けられたと思われる。

また、今後のことを考えると学校の適正規模を守るルールも必要です。柏市などでは、数年先まで見越して収容力に余裕がないと判断した学校は「受け入れができない学校」などとしてHPで公開しており、学区外就学を制限しています。一方、豊田市などでは「小規模特認校制(学区外からでも小規模校を選ぶことができる制度)」を採用しています。

つくばは若い年齢層の人口が増えている数少ない自治体です。そういった世帯にとって子どもの学校は大きな問題です。**適切な学区の設定と、学校の適正規模を守るルールをセットで見直していくことが必要だと要望しました。**



つくば市議会議員  
文教福祉委員

小森谷さやか

一般質問項目

- ・学区
- ・有害図書の取扱い





## DV学習会に参加して



人材育成アドバイザー、NPO法人ウィメンズネット「らいず」理事の大塚朋子さんから「DV（ドメスティックバイオレンス）被害を受けた人への支援」についてのお話を伺いました。自分には縁がないと思っていたDV。参加して身近なことと感じました。

①内閣府のデータによると約4人に1人がDVを1度は経験。②身体的な暴力に限らず、言葉や態度によって相手を脅す、行動を制限などもDV（多くの夫婦でありそう?）。③加害者は職業や年齢を問わず、対外的には印象が良いとの人も多く、周囲に気付かれにくい。④子どもの前で行われるDV、面前DVは子どもへの虐待となる。⑤DVではと気付いたら、一人で悩まずに民間・県・県警などの相談窓口で相談するよう周囲の人も促してほしい。など伺いました。

また、社会的な構造（男性優位など）がDVを生むことから、人権を尊重する教育が欠かせないと思いました。（I.K）

市民ネットでは、今後も引き続きデートDVなど学習会を重ねていきたいと思います。

NPO法人  
ウィメンズネット  
**らいず**

**DVヘルプライン**  
毎週水曜・金曜  
午前10時～午後3時  
**029-222-5757**

※相談は無料です。  
※秘密厳守、匿名でも受け付けます。  
※必要に応じて、関係機関、専門機関への紹介を行います。

### 主な活動報告

- 2/3, 2/12, 2/17, 3/10, 3/21, 4/1 つくば市民による財政白書づくりの会
- 1/14, 3/24 街頭議会報告
- 1/21 財政学習会（講師：大和田一純氏）開催
- 1/21 安倍改憲NO!3000万人署名キックオフ集会参加
- 1/22～23 道路・公共交通体系及びTX沿線整備調査特別委員会視察（宇都宮市・藤岡市）（皆川、小森谷）
- 1/24, 1/27 谷田部庁舎跡地に関するサウンディング型市場調査結果説明会参加
- 1/24～25 観光開発推進特別委員会視察（富岡市・本庄市）（宇野）
- 1/25 講演会「ポートランドのまちづくり」参加
- 1/27, 1/31 荻崎庁舎跡地に関するサウンディング型市場調査結果説明会参加
- 1/27～28 子どもとメディア全国フォーラム参加
- 1/30 JA佐久浅間視察（朝鮮人参栽培）
- 2/2 学習会「明石市の合理的配慮の助成制度」参加
- 2/7 筑波大学遺伝子組換え実験連絡協議会出席
- 2/8, 2/9, 2/12 議員と話そう会開催
- 2/18 種子法学習会（大河原雅子氏）開催
- 2/19 SDGsフォーラム参加
- 2/21～3/16 3月定例市議会
- 2/25 子どもを支えるチームづくり講座参加
- 3/1 土浦市二中地区公民館&やすらぎサロンつわ視察
- 3/11 さよなら原発!守ろう憲法!つくば共同アクション参加
- 3/19 DV学習会開催
- 3/25 市民と議員の条例づくり交流会議2018参加
- 4/1 学習会「原発県民投票について考えよう!」参加
- 4/3 土浦市立図書館見学

※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会等も多数傍聴しています。

### 体験記

つくば市民ネットワークでは、若年投票率の向上を目標に活動するNPO法人ドットジェイピーの、学生を対象とした議員インターンシッププログラムに協力しています。これは、議員と行動を共にする事により、その仕事への思いや、政治と社会のつながりを知る体験学習プログラムです。今回参加した3人の大学生に、感想を聞きました。

私は視野を広げてみたいという理由からこの議員インターンに参加しました。

議会や委員会などを傍聴させていただく中で、自分の今まで知らなかったことを知ることができ、勉強になることが多かったです。学区の問題や、転入促進政策の話、障害のある方を家族に持つ方からのバリアフリーの現状についての話など、自分や同年代の周囲の人からはなかなか聞くことのない印象的な話を聞くことができました。今回の活動で行政の方や市民の方の様々な考えを知ることができ、目的であった視野を広げることも達成できたように思います。このインターンに参加しなければ経験できなかったようなことがたくさんでき、充実したインターンとなりました。（A.K）

インターンに参加する前は、行政とか市民参加とかあまりピンと来ていなくて、どこか他人事のように感じていました。しかし、市民ネットでインターンをして、議員と話そう会やいろいろなイベントに参加したり、議会傍聴をしたり、事務所で会員の方々とお話ししたりするうちに、市政は私たちの生活に様々な面で密接に関わっているということを実感しました。たくさんの貴重な経験をし、有意義な二か月間でした。（Y.S）



つくば市民ネットを一言で表すととにかく「市民目線」です。こんなに市民のもとに足を運び、声を聞いて下さる議員さんはなかなかいらっしゃらないと思います。女性・主婦目線で、より生活にあった行政を目指しているのが印象的でした。私は看護師を目指しているのですが、市民ネットの方々と関わったことで、患者さんの目線を大事にしたいと思いました。（N.H）

### 署名報告

4月5日現在、市民ネットでの集約は「主要農作物種子法に代わる公共品種を守る新しい法律をつくることを求める署名」893筆、「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」904筆になりました。ご協力ありがとうございました。引き続き、署名を集めています。署名用紙をご希望の方は、市民ネットへご連絡ください。

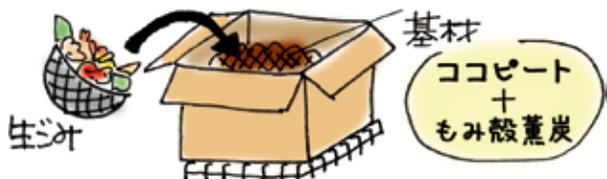
### 生ごみを堆肥に!

#### ダンボールコンポスト講習会

5月26日(土) 10時半～12時

市民ネット事務所

(つくば市二の宮2-1-3 クラフトビル1F)



ダンボール箱を使って生ごみをリサイクル! 実演を交えて、方法やコツをご紹介します。要予約お申し込みは、029-859-0264(市民ネット)まで。

つくば市では2012年度から公民館を地域交流センターに変え、地域コミュニティ形成の拠点になるような施設を目指したのですが、その目的は十分果たされているとは言えません。高齢福祉部会では、今年度地域交流センターを高齢者の暮らしにもっと役立てられないかと検討をしています。土浦市では公民館を地域住民の活動拠点として活用していると以前から耳にしていたので、土浦市二中地区公民館を見学に行きました。

まず驚いたのは、館長が公民館長とコミュニティーセンター所長と社会福祉協議会真鍋支部事務局長の3役を兼任しているということでした。

コミュニティーセンターとしては、土浦市まちづくり市民会議のもと、二中地区市民委員会の6専門部が実質的な活動を担っています。社協支部としては、職員が「地域ケアコーディネーター」として福祉の相談窓口となり、区長、民生委員等と連携して地域の具体的な課題の解決にあたっています。このように公民館という住民に身近な施設が地域コミュニティや社協とつながって、高齢者や地域住民の生活を支えているという仕組みは良くできていると思います。説明して下さった館長さんのいきいきと楽しそうな表情がとても印象的でした。

この後、土浦市で中学校区に配置されている八つの生きがい対応型デイサービス施設の一つであり、毎日開かれている「やすらぎサロンつわ」の見学をしてきました。

見学した例がつくば市に应用できるかどうかは別として、土浦市は独自の工夫をしています。高齢者の生活について考えていくうえで参考にしたいと思いました。

